



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日 東

上場会社名 株式会社ベルーナ 上場取引所  
 コード番号 9997 URL <http://www.belluna.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 松田 智博 (TEL) 048-771-7753  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	34,044	3.0	1,846	66.9	2,369	86.9	1,567	79.3
27年3月期第1四半期	33,068	△10.8	1,106	△51.0	1,267	△48.6	874	△44.0

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 1,731百万円(79.2%) 27年3月期第1四半期 966百万円(△37.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	16.12	—
27年3月期第1四半期	8.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	157,837	80,712	50.9
27年3月期	152,224	79,510	52.1

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 80,376百万円 27年3月期 79,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	6.25	—	6.25	12.50
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	6.25	—	6.25	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	61,000	8.3	2,300	83.5	3,100	4.6	2,000	△2.5	20.57
通期	130,000	7.7	8,500	33.3	10,200	1.5	6,750	5.6	69.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記情報)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	113,184,548株	27年3月期	113,184,548株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	15,947,119株	27年3月期	15,946,915株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	97,237,536株	27年3月期1Q	97,238,623株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、設備投資が増加するなど緩やかな回復基調が持続し、個人消費についても所得・雇用環境の改善に伴い、徐々に持ち直してきております。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続きポートフォリオ経営の強化に取り組んで参りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は34,044百万円（前年同期比3.0%増）となりました。営業利益は総合通販事業での収益改善などにより1,846百万円（同66.9%増）となりました。また、為替相場の変動による利益も加わって経常利益が2,369百万円（同86.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,567百万円（同79.3%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### 〔総合通販事業〕

商品価格帯の引き上げもあって、売上高は20,321百万円（同1.1%減）となりましたが、セグメント利益は売上原価率や物流費率の改善により1,085百万円（同169.3%増）となりました。

#### 〔専門通販事業〕

グルメ事業や㈱ナースリーなどが順調に売上を伸ばしたことで、売上高は8,024百万円（同6.8%増）となりました。また、セグメント利益は㈱ベストサンクスの収益改善などで178百万円（前年同期はセグメント損失210百万円）となりました。

#### 〔店舗販売事業〕

アパレル店舗事業に加えて、和装店舗事業も順調に売上を伸ばしたことで、売上高は2,417百万円（同52.0%増）となり、セグメント利益は31百万円（前年同期はセグメント損失96百万円）となりました。

#### 〔ソリューション事業〕

大ロククライアントの出稿時期が平準化されたことなどで、売上高は1,145百万円（同12.5%減）、セグメント利益は428百万円（同32.1%減）となりました。

#### 〔ファイナンス事業〕

国内消費者金融事業の貸付金残高を伸ばしたことにより、売上高は692百万円（同16.5%増）となりました。一方で、セグメント利益は積極的な広告宣伝活動などにより152百万円（同30.6%減）となりました。

#### 〔プロパティ事業〕

今期は不動産販売がなかったことなどで減収減益となり、売上高は755百万円（同8.8%減）、セグメント利益は29百万円（同87.5%減）となりました。

#### 〔その他の事業〕

全体として大きな変動はなく、売上高は863百万円（同2.0%増）、セグメント利益は16百万円（前年同期はセグメント損失21百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比1,208百万円増加し、71,064百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,802百万円、原材料及び貯蔵品が786百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が2,024百万円、商品及び製品が1,951百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比4,404百万円増加し、86,772百万円となりました。これは主に土地が1,047百万円、投資有価証券が2,183百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比5,613百万円増加し、157,837百万円となりました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比600百万円減少し、35,916百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が3,275百万円、未払費用が1,039百万円増加した一方で、短期借入金が3,349百万円、未払法人税等が1,285百万円減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比5,011百万円増加し、41,208百万円となりました。これは主に長期借入金が5,068百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比4,411百万円増加し、77,124百万円となりました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比1,202百万円増加し、80,712百万円となりました。この結果、自己資本比率は50.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成27年5月15日の公表から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した(株)ビッグベルトレーディング、MIRIANDHOO MALDIVES RESORTS PVT.LTD.、VAUXHALL STREET TOWERS PVT.LTD.を連結の範囲に含めております。

また、当第1四半期連結会計期間より、株式を取得した丸長(株)を連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を平成27年6月30日にしており、当第1四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ39百万円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,242	15,440
受取手形及び売掛金	9,579	11,604
営業貸付金	17,281	17,364
有価証券	721	556
商品及び製品	15,857	17,809
原材料及び貯蔵品	1,185	399
販売用不動産	1,782	1,779
仕掛販売用不動産	328	341
繰延税金資産	712	597
その他	5,785	5,788
貸倒引当金	△621	△617
流動資産合計	69,855	71,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,714	21,946
機械装置及び運搬具(純額)	990	961
工具、器具及び備品(純額)	364	350
土地	32,192	33,239
リース資産(純額)	408	379
建設仮勘定	134	122
有形固定資産合計	55,804	57,000
無形固定資産		
のれん	3,601	3,570
リース資産	1,284	1,173
その他	2,696	3,379
無形固定資産合計	7,582	8,124
投資その他の資産		
投資有価証券	13,326	15,510
長期貸付金	1,679	1,697
破産更生債権等	250	239
繰延税金資産	807	740
その他	3,203	3,740
貸倒引当金	△286	△280
投資その他の資産合計	18,981	21,647
固定資産合計	82,368	86,772
資産合計	152,224	157,837

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,449	18,724
短期借入金	7,672	4,322
未払費用	6,629	7,668
リース債務	548	541
未払法人税等	2,047	761
賞与引当金	546	312
返品調整引当金	66	101
ポイント引当金	649	609
その他	2,908	2,873
流動負債合計	36,516	35,916
固定負債		
長期借入金	31,995	37,063
利息返還損失引当金	1,097	1,113
リース債務	1,162	1,029
退職給付に係る負債	34	62
役員退職慰労引当金	244	245
資産除去債務	494	496
その他	1,168	1,197
固定負債合計	36,197	41,208
負債合計	72,713	77,124
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,607	10,607
資本剰余金	11,003	11,003
利益剰余金	66,120	67,080
自己株式	△9,676	△9,676
株主資本合計	78,054	79,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,313	1,410
為替換算調整勘定	△183	△105
退職給付に係る調整累計額	61	57
その他の包括利益累計額合計	1,191	1,362
非支配株主持分	264	335
純資産合計	79,510	80,712
負債純資産合計	152,224	157,837

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	33,068	34,044
売上原価	14,601	14,528
売上総利益	18,466	19,516
返品調整引当金繰延差額	14	35
差引売上総利益	18,451	19,480
販売費及び一般管理費	17,345	17,633
営業利益	1,106	1,846
営業外収益		
受取配当金	114	89
為替差益	111	176
デリバティブ評価益	-	246
その他	205	284
営業外収益合計	432	796
営業外費用		
支払利息	27	31
支払手数料	1	189
デリバティブ評価損	157	-
その他	85	52
営業外費用合計	271	273
経常利益	1,267	2,369
特別利益		
投資有価証券売却益	49	31
特別利益合計	49	31
税金等調整前四半期純利益	1,316	2,401
法人税、住民税及び事業税	389	663
法人税等調整額	52	182
法人税等合計	442	846
四半期純利益	874	1,554
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△12
親会社株主に帰属する四半期純利益	874	1,567



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	874	1,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	218	96
為替換算調整勘定	△123	84
退職給付に係る調整額	△2	△3
その他の包括利益合計	91	176
四半期包括利益	966	1,731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	966	1,738
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△6

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	20,531	7,513	1,590	1,174	594	828	835	—	33,068
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	0	—	134	—	—	11	△164	—
計	20,549	7,513	1,590	1,309	594	828	846	△164	33,068
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	403	△210	△96	631	220	239	△21	△59	1,106

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳45百万円とのれん償却費△105百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	20,287	8,021	2,417	1,020	692	752	852	—	34,044
セグメント間の内部 売上高又は振替高	34	3	—	124	—	3	10	△176	—
計	20,321	8,024	2,417	1,145	692	755	863	△176	34,044
セグメント利益	1,085	178	31	428	152	29	16	△76	1,846

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳32百万円とのれん償却費△109百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。